

Top Message

ごあいさつ

課題克服への取り組みを
着実に継続し、企業価値の向上を
目指してまいります。



代表取締役社長

犬伏 泰夫

上半期の業績は、前年同期に比べ 増収増益となりました。

株主の皆様には、ますますご清栄のことと拝察申し上げます。

まず、当社グループの第156期上半期(平成20年4月1日～平成20年9月30日)における取り組みならびに連結業績についてご報告申し上げます。

当上半期の我が国経済は、資源・エネルギー価格の高騰と輸出の鈍化などを背景にした企業収益の悪化や、個人消費の低迷など、景気の減速が鮮明になり、後半には後退の懸念が深刻化してまいりました。海外においては、中国や中東、ロシアなどが緩やかに減速しながらも成長を維持する一方で、米国における金融危機の影響もあり、欧米の景況感は更に悪化しました。

このような経済環境のもと、当社グループにおいては、アルミ・銅関連事業や建設機械関連事業などの一部で需要の低迷に見舞われました。一方で、それ以外の事業の需要は総じて堅調に推移し、需要の着実な取り込みとコスト

ダウンの徹底、販売価格の改善に努めてまいりました。

また当上半期中には、将来に向けた施策として、国内では、当社の得意とする船舶用クランク軸の需要増に対応するため、高砂製作所の鋳鍛鋼工場の全般的な生産能力増強工事に着手したほか、製鉄所向け酸素製造装置などに使用されるターボ大型圧縮機の市場に本格参入していくため、大型試運転設備の新設にも取り掛かりました。このほかにも、新日本製鐵株式会社との連携施策の一環として、両社で発生する製鉄ダストをリサイクルし、還元鉄の生産・利用を行なうための共同出資会社の設立について合意いたしました。海外においては、オーストリアのフェストアルピーネ・クレムス社と自動車部品用途の超ハイテン材のロールフォーム技術に関する包括技術契約を締結したほか、上海における圧縮機製造会社の生産能力増強も進めております。

当上半期は、鉄鋼関連事業において、原材料の大幅な価格上昇に対応して鋼材販売価格への転嫁を進めたことなどから、売上高は前年同期に比べ1,571億円増収

の1兆1,917億円となりました。営業利益は、鉄鋼をはじめ各事業とも大幅なコストアップに直面しましたが、コストダウン活動を継続するとともに販売価格の改善に取り組んだことから、前年同期に比べ107億円増益の1,064億円となりました。また、経常利益は前年同期に比べ96億円増益の855億円、純利益は特別損失として投資有価証券評価損を計上したことから、前年同期並みの462億円となりました。

このような業績を踏まえ、当期の中間配当につきましては、前年同期と同じ1株につき3円50銭とさせていただきます。継続的かつ安定した配当実施を基本方針に、業績や配当性向、将来の成長のために必要な投資資金、財務体質の改善状況などを総合的に勘案して決定いたしました。株主の皆様にはご理解を賜りたいと存じます。

課題克服への取り組みを着実に継続し、企業価値の向上を目指します。

中国や中東など、日本経済の支えともなっている新興国の経済は、減速感はあるものの依然成長していると認識しておりますが、今後につきましては、先進国の金融システムの動揺や景気の動向が、これら新興国の実体経済にどのようなインパクトを与えるか、極めて不透明であります。

こうした環境の下、当社グループは、需要を引き続き確実に取り込むことに加え、原材料価格の動向を睨んだ販売価格改善の実施、コストダウンや生産効率の向上などの収益維持・改善努力も一層強化、継続してまいります。さらに、新たな需要を取り込むための製品開発や、新鉄

源ビジネスなどの新たな事業への挑戦を行なっていくことも、当社が持続的成長を目指すうえで重要な課題だと考えています。

9月に金融不安が一気に噴出して以降、株式市場も激しく揺れましたが、当社グループとしましては、上記のような課題克服への取り組みを着実に継続すること、そして全ての事業にわたって、環境への配慮や法令遵守といった社会的責任を全うしていくことこそが、当社の企業価値の向上につながるものと考えております。

株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年11月

神戸製鋼グループ企業理念

当社グループは、下記の企業理念のもと、株主・投資家、顧客や取引先、従業員、地域社会など、あらゆるステークホルダーの皆様に対して、企業としての社会的責任を全うできるよう努力を続けることにより、持続的な企業価値の向上を目指してまいります。

1. 信頼される技術、製品、サービスを提供します
2. 社員一人ひとりを活かし、グループの和を尊びます
3. たゆまぬ変革により、新たな価値を創造します

事業分野 Business Field



「オンリーワン製品」の創出に向けて

連結

売上高

1兆1,917 億円
(前年同期比 +15.2%)



営業利益

1,064 億円
(前年同期比 +11.3%)



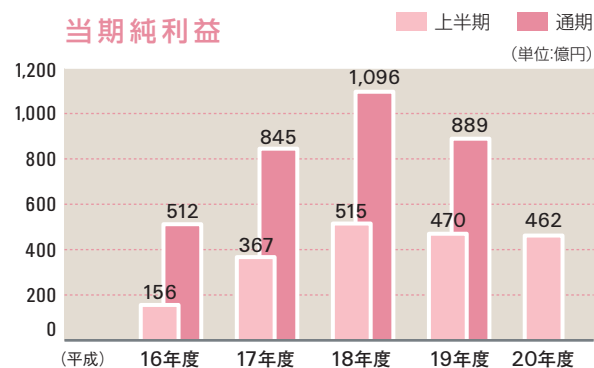
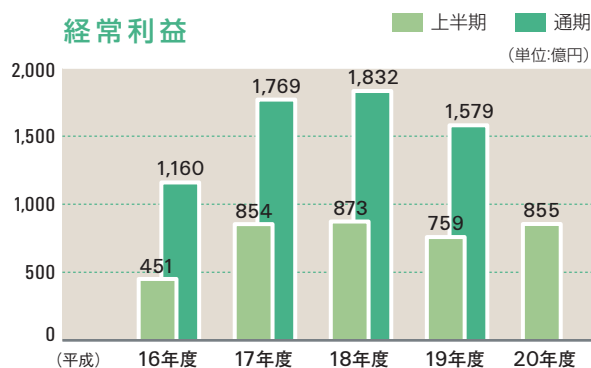
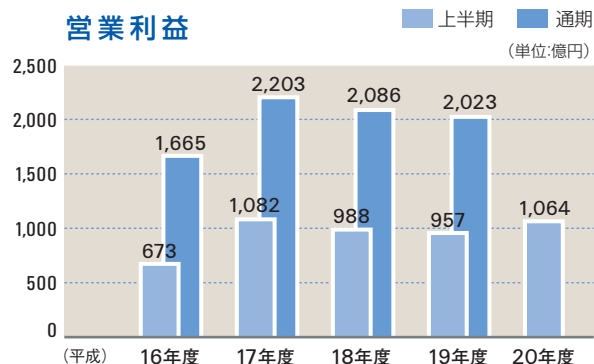
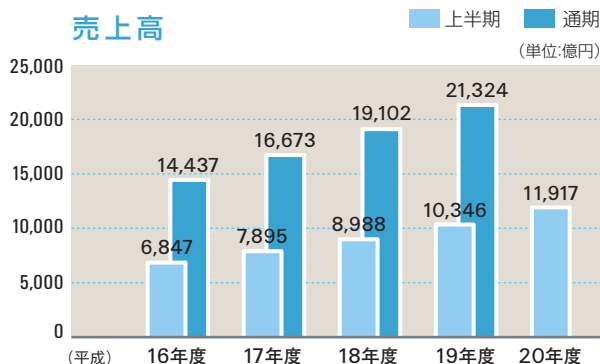
経常利益

855 億円
(前年同期比 +12.7%)



当期純利益

462 億円
(前年同期比 △1.6%)



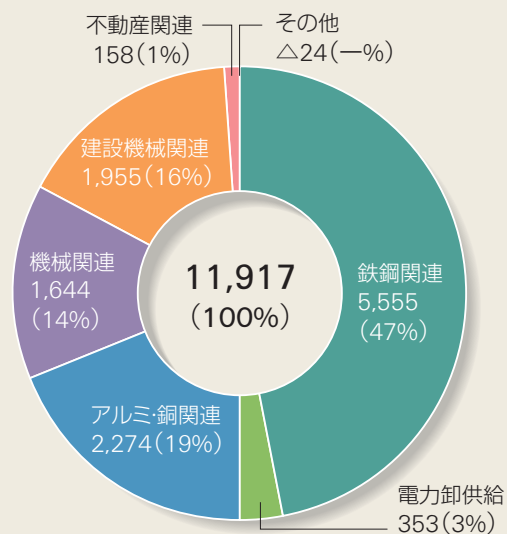
(表示金額は、単位未満の数字を切り捨てております。)

当上半期の概況

当上半期(第2四半期連結累計期間)の我が国経済は、エネルギー・原材料をはじめとする資源価格高や、輸出の鈍化などを背景に、企業収益が悪化するなど、景気は停滞しました。一方、海外においては、金融不安の影響もあり、米国や欧州の景気減速が明確になりましたが、中国や中東、ロシアなどは緩やかに減速しながらも成長を維持しました。

このような経済環境のもと、当上半期の業績は、鉄鋼関連事業で原材料の大幅なコストアップに対応して鋼材販売価格への転嫁を進めたことなどから、売上高は前年同期に比べ1,571億円増収の1兆1,917億円となりました。営業利益は、鉄鋼をはじめ各事業とも大幅なコストアップに見舞われましたが、これに対応し、コストダウン活動を継続するとともに販売価格の改善に取り組んだことから、前年同期に比べ107億円増益の1,064億円となりました。また、経常利益は前年同期に比べ96億円増益の855億円、純利益は特別損失として投資有価証券評価損を計上したことから、前年同期並みの462億円となりました。

事業別売上高(平成20年度上半期) (単位:億円)



(注)「その他」には「電子材料・その他の事業」の売上高281億円と事業間の内部売上高等の消去額△305億円が含まれておりますので、上記円グラフ「その他」の金額は△24億円となっております。

事業別の概況 (枠内の数字は売上高を記載しています)



鉄鋼関連事業

5,555 億円
(前年同期比 +25.2%)



上半期需要は堅調に推移し、
販売価格も改善しました。

- 高級鋼を中心とした堅調な需要を取り込むべく高水準の操業を継続。
- 原材料価格は大幅上昇、海上運賃市場も高止まり。
- 原材料などの大幅なコストアップに対応して販売価格への転嫁を推進し、鋼材販売価格は前年同期比上昇。
- 鍛鍛鋼は造船向けの需要が依然旺盛、チタン製品、溶接材料の需要も堅調。

- 営業利益は、前年同期比235億円増益の637億円。
- 今後の需要動向は、ユーザーの生産動向や海外の汎用鋼市況の軟化など予断を許さない状況。



加古川製鉄所



電力卸供給事業

353 億円
(前年同期比 +3.7%)



安定操業と収益の確保に
努めています。

- 電力単価に転嫁される石炭価格の上昇により売上高は増加。
- 法人税法の改正に伴い、耐用年数が短縮され、減価償却費が増加し、営業利益は前年同期比4億円減益の77億円。



神鋼神戸発電所



アルミ・銅関連事業

2,274 億円
(前年同期比 △2.3%)



液晶製造装置向けは復調も、
エアコンや印刷板向けアルミ
圧延品が減少しました。

- 飲料缶材用アルミ圧延品が堅調。
- 昨年底調だった液晶製造装置向けアルミ圧延品、アルミ鋳鍛造品が復調。
- エアコンや印刷板向けアルミ圧延品は減少。
- 銅圧延品は半導体分野の調整局面影響により前年同期並み。
- 売上高は需要の状況と販売価格に転嫁される地金価格下落により減少。
- 営業利益は、法人税法の改正に伴い、耐用年数の変更を行なったため、減価償却費が増加、在庫評価影響減などの影響により前年同期比103億円減益の36億円。



アルミ缶



機械関連事業

1,644 億円
(前年同期比 +23.5%)



事業全体の受注高は30.5%減
の1,406億円、当上半期末受注
残高3,714億円となりました。

- 石油精製・石油化学・エネルギー業界の活発な設備投資を背景に圧縮機やエネルギー関連機器を中心に受注は好調。
- 鉄源の需給逼迫を背景に、還元鉄プラントの引き合いも増加。
- 受注高は国内向けは前年同期比5.2%減の707億円、海外向けは、前年の上半期に大型案件が集中したため、前年同期比45.3%減の699億円。
- 営業利益は資機材価格の上昇により前年同期に比べ6億円増益の132億円。



LNG気化器



建設機械関連事業

1,955 億円

(前年同期比 +11.9%)



油圧ショベルは中国・東南アジア向けが好調、クレーンは世界全域で好調でした。

- 油圧ショベルの需要は、中国・東南アジア向けが引き続き好調に推移。
- 国内、米国、欧州向けの油圧ショベルの需要は減退。
- クレーンの需要は世界全域で好調が継続。
- 営業利益は資機材価格の上昇により前年同期並みの131億円。



油圧ショベル
「アセラ・ジオスベック」SK135SR



不動産関連事業

158 億円

(前年同期比 △11.3%)



賃貸事業は安定的に推移したものの、マンション分譲事業は引渡戸数が減少しました。

- 不動産販売事業におけるマンション販売戸数が減少。
- 賃貸事業は安定的収益継続。
- 営業利益は前年同期比5億円減益の14億円。



「ジークレフ豊中」

電子材料・
その他の事業

281 億円

(前年同期比 +1.4%)



配線膜用ターゲット材の販売量が減少しました。

- 輸送機・エネルギー業界向けを中心に試験分析事業は好調に推移。
- 代替素材との競合により、配線膜用ターゲット材の販売量が減少。
- 営業利益は前年同期比12億円減益の23億円。



ターゲット材



工場見学会のご案内

当社は株主の皆様へ当社へのご理解を一層深めていただくために、引き続き株主様工場見学会を実施いたします。今回ご覧いただく工場は、アルミ圧延を行なっております真岡製造所(栃木県真岡市)でございます。つきましては、下記の内容にて開催いたしますので、ご案内申し上げます。

見学工場:真岡製造所

(栃木県真岡市鬼怒ヶ丘15)

対象者:平成20年9月30日現在、
当社株式1,000株以上を
ご所有の株主様



工場見学会の概要

申込番号	実施日時 (平成21年)	集合場所	集合時間	解散場所・予定時間
①	3月14日(土)	JR宇都宮駅近辺	8:45	JR宇都宮駅近辺 13:45頃
②	3月14日(土)	JR宇都宮駅近辺	12:00	JR宇都宮駅近辺 17:00頃
③	3月15日(日)	JR宇都宮駅近辺	8:45	JR宇都宮駅近辺 13:45頃
④	3月15日(日)	JR宇都宮駅近辺	12:00	JR宇都宮駅近辺 17:00頃

※JR宇都宮駅までの所要時間:JR東京駅から東北新幹線にて約50分。

※詳細は、ご招待状にてご連絡させていただきます。

募集人数:160名(各回40名)※募集人数には同伴者を含みます。

※応募人数が多い場合には抽選とさせていただきます。

予めご了承いただきますようお願い申し上げます。

抽選の結果は1月末にご通知いたします。

応募方法:同封のはがきに必要事項をご記入のうえ、ご返送ください。

【締切日:平成21年1月9日(金)当日消印有効】

参加費:無料

※ただし、集合・解散場所(JR宇都宮駅)までの往復交通費は各自のご負担とさせていただきます。

昼食:軽食とお飲み物をご用意させていただきます。

その他:工場見学ルートは、徒歩での移動となります。

(何力所か階段がございます。)

お問合せ先

株式会社神戸製鋼所 法務部 工場見学会係

TEL 078-261-4066

受付時間 10:00~17:00(土・日、祝日、年末年始を除く)

株主様工場見学会開催のご報告

平成20年11月1日、11月2日の2日間にわたり、株主様工場見学会を当社加古川製鉄所(兵庫県加古川市)にて開催いたしました。当日は、全国各地よりご応募いただきました約4,000通の中から、抽選により当選された227名の株主様および同伴者様に、原料ヤード、第2高炉、熱延工場および防じんネットをご見学いただきました。当社といたしましては、より多く

の株主様に当社グループの事業をご理解いただけるよう、今後もこうした活動に取り組んでまいります。



工場見学会の様子

● 鉄鋼関連事業

● 機械関連事業

● 本社・技術開発本部

2008 (平成20年)

4月

鉄鋼関連事業

電磁波シールド対策に効果的な高性能鋼板を開発・商品化

家電製品における、機器誤作動等の原因となる各種電子機器からの漏洩電磁波対策として、高導電性によるシールド効果に加え、電磁波を減衰し、漏洩電磁波を低減させる高性能鋼板「コーベデンジシールド®」を開発・商品化しました。「コーベデンジシールド®」を薄型テレビ、ハードディスクドライブ、カーナビ、複写機等各種電子機器の筐体等に使用することにより、これまで使用されている一般の電気亜鉛めっき鋼板や塗装鋼板に比べ、漏洩電磁波を電力値で1/4~1/9程度に低減することが可能になりました。



コーベデンジシールド製造ライン

5月

● 神鋼圧縮機製造(上海)有限公司の工場移転および生産能力の増強

7月

鉄鋼関連事業

チタン溶接管 電動自転車用フレーム素材に使用

パナソニックサイクルテック株式会社から2008年6月20日に発売された「軽量プレミアム電動自転車「チタンライトEB」」のフレーム素材に、当社グループのチタン溶接管が採用されました。フレーム素材にチタン合金を採用することで、従来は20kgを超えていた電動自転車を16.7kgまで軽量化することが可能になりました。また、チタン素材は、振動吸収性、耐久性に優れていることから、快適な運転を長期間にわたり演出いたします。



(パナソニック提供)

機械関連事業

スクリュ式小型蒸気発電機「スチームスター」の新機種(高出力機種)を発売

当社グループ(神戸製鋼<機械エンジニアリングカンパニー、技術開発本部>、神鋼商事、神鋼造機)は、スクリュ式小型蒸気発電機「スチームスター」の高出力機種を発売しました。工場や事業所などで発生する余剰蒸気や、製造プロセス前での蒸気の減圧エネルギーを活用して高効率の発電を行なう「スチームスター」に対するユーザーの反響が大きく、100kW以上の高出力機が待たれていました。こうした需要に応えるため、ラインナップの拡大を進め、出力を約30%アップした132kWの新機種を発売し、今後は160kW機種の販売も予定しています。また、160kWを含めたラインナップは、蒸気吸込み圧力が低圧(10気圧未満)ですが、さらに圧力の高い中圧分野(20気圧未満)へも機種拡大を計画しています。



スチームスター

8月

● 世界で唯一、常温で※超塑性を発現する「亜鉛-アルミ合金」の制振ダンパーへの採用

※超塑性:鉛のように著しく伸びること



航空宇宙分野

チタン合金の日本パイオニア企業として、 世界の航空機メーカーから認められた高品質と実績。

航空機用チタン合金

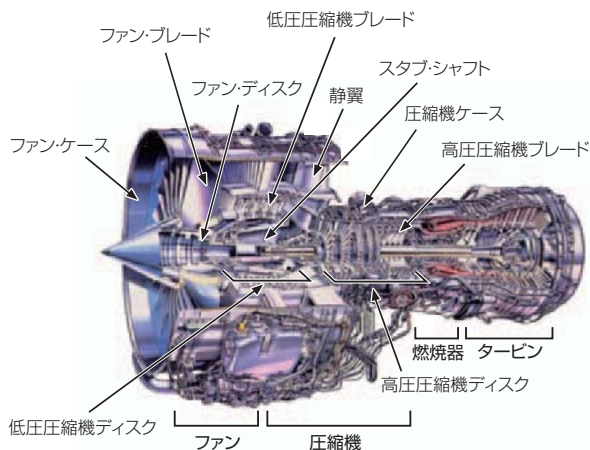
「軽い」「強い」「錆びない」という特性を持つチタンは、航空宇宙分野では欠かせない素材です。「新素材」と思われがちですが、当社は、1949年に国内で初めて研究開発に着手。1959年には、日本初のジェットエンジン用にチタン鍛造品を納入し、航空宇宙分野に進出しました。まさに我が国におけるチタンのパイオニアであり、現在もトップメーカーとしての地位を確立しています。

航空機部品には機体やエンジンのメーカーから厳密な製造認定があり、品質だけでなく、製造設備、工程管理、最終検査などチェック項目は多岐にわたり、すべてをクリアする必要があります。また、納入実績も重視され、50年以上の歴史を持つ当社は、世界の航空機メーカーから認定を取得。特にエンジンでは、世界の3大エンジンメーカーの一角であるロールスロイス社から認定を受けています。

最近では、民間航空機において一機当たりのチタン使用量が増加しています。また、ボーイング社では中国やインド等の旅客需要拡大を想定し、今後20年間で約3万機が必要になると予測しており、機体・エンジン向けチタンのさらなる需要拡大が期待されています。

また、宇宙分野においては、JAXA(宇宙航空研究開発機構)が国際宇宙ステーションへの物資輸送機として2009年打ち上げを計画している「HTV」に、当社のチタン合金製品が採用されました。今後も高品質のチタン合金製品が、世界の空、宇宙へと、幅広く採用されることを目指します。

■民間航空機用エンジンのチタン使用例



環境への取組みと 社会との共生



神戸製鋼グループは、地球環境の保全が全ての生命体に共通する最も重要な課題であり、より健全な地球環境を次世代に引き継ぐことが私たちの使命であると認識し、『環境経営基本方針』を策定し、事業活動のあらゆる面で環境に配慮する環境経営の推進に努めています。

■環境経営基本方針

『グループ環境経営の実践による企業価値向上』

神戸製鋼グループは、環境先進企業グループを目指して

1. 環境に配慮した生産活動
2. 製品・技術・サービスでの環境への貢献
3. 社会との共生・協調

を実践することにより、社会的責任を果たすとともに、企業価値を高める。

■第9回環境経営委員会の開催

2008年8月に第9回環境経営委員会が開催され、中期環境経営計画の進捗状況や、地球温暖化対策、エコビジネスや廃棄物削減の取り組みに関する報告などが行なわれました。また、2009-2011年の次期中期環境経営計画についても議論が開始されました。



環境経営委員会

■「環境フェア in KOBE」に出展

グループ環境経営を推進していくため、現在、6つの実施事項「あらゆる面で環境に配慮したものづくりの徹底」、「製品・技術・サービスでの環境への貢献」、「環境関連情報の開示」、「社会との共生・協調」、「全員参加による取り組みの展開」、「リスク管理の徹底」について展開しています。

これらの活動については、環境・社会報告書や各種展示会で紹介しております。2008年5月には、G8環境大臣会合に連携して開催された「環境フェア in KOBE」に出展し、自動車軽量化に向けたハイテン鋼製シートやアルミ製バンパーシステム、省エネ製品等を紹介しました。



「環境フェア in KOBE」の出展状況

■灘浜サイエンススクエアが 「地球環境大賞」文部科学大臣賞を受賞

神戸製鋼の神鋼神戸発電所に隣接する地域交流施設の1つ、「灘浜サイエンススクエア」(神戸市灘区灘浜東町)が、第17回「地球環境大賞」の文部科学大臣賞を受賞しました。当施設が小中学生への環境・エネルギー学習に貢献していること、地域や社会との環境コミュニケーション構築に寄与していることなどが高く評価されたものです。



地球環境大賞授賞式

社会貢献への取り組み

芸術文化面

当社は、このたび兵庫県が募集していた兵庫県立芸術文化センター「大ホール」の命名権を取得しました。これにより、2008年10月から2011年3月までの2年半の間、命名した愛称「KOBELCO大ホール」が、期間中に大ホールで開催される公演のポスター・チラシ類、あるいは館内の大ホールに関する案内板や会報などに印刷・表記されます。

同センターは、県下随一の芸術文化施設で、専属オーケストラによるコンサートやオペラなど質の高い舞台芸術を演出する一方、県下の中学一年生全員を無料招待する「わくわくオーケストラ教室」や、気軽にコンサートを楽しんでもらえるよう入場料を500円にした「ワンコイン・コンサート」などを定期的に開催するなど、音楽文化の普及活動に積極的に取り組んでいます。

当社グループは、今回の命名権取得によって、豊かな県民生活の醸成と青少年の健全な育成を下支えしていきたいと考えております。

中国四川省大地震 被災地に対する支援について

平成20年5月12日に中国四川省でマグニチュード8.0の大地震が発生しました。

コベルコ建機グループは、今回の被災地域の中心に位置する唯一の建機メーカーであり、被災地である成都市で1994年以降事業活動を展開しています。

地震発生直後に、被災地である成都市に、地元企業グループとして当社とコベルコ建機グループは油圧ショベル2台とホイールローダ4台の合計6台、総額約400万円(約6,000万円)の寄贈、100万円(約1,500万円)の義捐金といった支援を行ないました。

この支援につづき、コベルコ建機グループは、地域への社会貢献の観点から、積極的な復興支援を行ないたいと成都市に打診したところ、特に甚大な被害を受けた学校の再建支援のご紹介と推薦をいただき、今回の震災で倒壊した小学校のうち、四川省の彭州(ペンゾウ)市内の小学校一校の建物(校舎、寮、食堂等)の再建、および備品の購入など総額約800万円(約1億2千万円)の復興支援を行なっております。

ラグビーを通じての活動

特定非営利活動法人「日本せきずい基金」への募金

2001年度より試合会場にて、特定非営利活動法人「日本せきずい基金」への募金活動を行なっています。2008年8月23日には、2007-2008年度シーズンに集まった募金に、2008年7月6日に開催いたしました「コベルコラグビーフェスティバル2008」における収益金の一部を加えた寄付金を心身障害者センターあいアイ館にて贈呈いたしました。

KOBELCOカップ2008 第4回全国高等学校合同チーム ラグビーフットボール大会を開催

当社グループが特別協賛させていただき、2008年7月22日から7月25日まで「第4回全国高等学校合同チームラグビーフットボール大会」が、長野県菅平高原で開催されました。(第1回～第3回大会は北海道夕張市にて開催)

当社グループは、高校生選手の育成・強化、競技人口の増加、更にはラグビーファン層の拡大を図るため、ラグビーの普及活動を行なっています。



第4回全国高等学校合同チーム
ラグビーフットボール大会

Corporate Data

連結子会社および持分法適用会社 [214社]

(平成20年9月30日現在)

■鉄鋼関連事業：62社

日本高周波鋼業株式会社、神鋼特殊鋼管株式会社、
 神鋼建材工業株式会社、神鋼物流株式会社、神鋼ボルト株式会社、
 堺鋼板工業株式会社、株式会社神鋼エンジニアリング&メンテナンス、
 神鋼総合サービス株式会社、KOBUEルディングワイヤ株式会社、
 エヌアイエル株式会社、
 コウベ ウェルディング オブ コリア カンパニー リミテッド、
 ※株式会社大阪チタニウムテクノロジーズ、神鋼鋼線工業株式会社、
 ※関西熱化学株式会社、株式会社テザックワイヤロープ 他

■電力卸供給事業：1社

神鋼神戸発電株式会社

■アルミ・銅関連事業：28社

株式会社コベルコ マテリアル銅管、神鋼リードミック株式会社、
 サン・アルミニウム工業株式会社、神鋼ノース株式会社、
 神鋼メタルプロダクツ株式会社、
 コウベ プレシジョン テクノロジー センディリアン ベアヘッド、
 シンガポール コウベ プライベート リミテッド、
 コウベ エレクトロニクス マテリアル(タイランド)カンパニー リミテッド 他

■機械関連事業：40社

株式会社神鋼環境ソリューション、コベルコ・コンプレッサ株式会社、
 神鋼造機株式会社、神鋼電機株式会社、
 ※コンプレホ シデルルヒコ デグアジャナ セアー 他

■建設機械関連事業：49社

コベルコ建機株式会社、コベルコクレーン株式会社 他

■不動産関連事業：8社

神鋼不動産株式会社 他

■電子材料・その他の事業：26社

株式会社コベルコ科研、神鋼JFE機器株式会社、
 コウベ スチール USA ホールディングス インコーポレーテッド、
 ※神鋼商事株式会社、※ジェネシス・テクノロジー株式会社、
 ※日本メディカルマテリアル株式会社 他

(注)※印は持分法適用会社であります。

取締役および監査役、執行役員

(平成20年9月30日現在)

取締役会長(代表取締役) 水越 浩士
 取締役社長(代表取締役) 犬伏 泰夫

■本社

取締役副社長(代表取締役) 佐藤 廣士	常務執行役員 川田 豊	執行役員 沖田 誠治
取締役副社長(代表取締役) 小山 敬治	常務執行役員 藤原 寛明	執行役員 関 勇一
専務取締役 松谷 高志	執行役員 泉 博二	

【鉄鋼部門】

取締役副社長(代表取締役) ※賀屋 知行	常務執行役員 山口 育廣	執行役員 津村 拓良
専務執行役員 大西 功一	常務執行役員 公文 康進	執行役員 塚本 晃彦
専務執行役員 村瀬 敬一	執行役員 木村 雅保	執行役員 尾上 善則
常務執行役員 阿部 央道	執行役員 川崎 博也	

■溶接カンパニー

専務取締役
※藍田 勲
 執行役員
粕谷 強

■アルミ・銅カンパニー

専務取締役
※中山 裕之
 常務執行役員
高橋 徹
 常務執行役員
下村 良介
 執行役員
濱中 龍介

■機械エンジニアリングカンパニー

専務取締役
※重河 和夫
 常務執行役員
田中 順
 常務執行役員
毛利 修三
 執行役員
植木 一秀

■社外取締役

取締役 中野 淳司
 取締役 土居 征夫

(注)※印は、鉄鋼部門長および各カンパニーのプレジデントであります。

監査役(常勤) 浅岡 徹	監査役(社外監査役) 金子 崇輔	監査役(社外監査役) 佐々木 茂夫
監査役(常勤) 大越 年祝	監査役(社外監査役) 池田 義一	

会社の概要

(平成20年9月30日現在)

- 創 立 明治38年9月
- 資 本 金 2,333億1,324万8,065円
- 発行済株式総数 31億1,506万1,100株
- 株 主 数 251,302名
- 従 業 員 数 10,017名

事業所

神戸本社 〒651-8585 神戸市中央区脇浜町二丁目10番26号
☎078(261)5111(大代表)

東京本社 〒141-8688 東京都品川区北品川五丁目9番12号
☎03(5739)6000(大代表)

支 社 大阪・名古屋

支 店 北海道(札幌市)・東北(仙台市)・
新潟(新潟市)・北陸(富山市)・
四国(高松市)・中国(広島市)・
九州(福岡市)・沖縄(那覇市)

海外事務所 ニューヨーク・デトロイト・シンガポール・北京・上海
(注)「海外事務所」には現地法人を含めております。

研 究 所 神戸

製鉄所・工場 <鉄鋼・溶接部門> 加古川・神戸・高砂・藤沢・茨木・西条
<アルミ・銅部門> 真岡・長府・大安
<機 械 部 門> 高砂・播磨

株主メモ

事 業 年 度 4月1日～翌年3月31日

定 時 株 主 総 会 6月

基 準 日

定時株主総会 3月31日

剰余金の配当 期末 3月31日

中間 9月30日

(その他必要のあるときはあらかじめ公告します。)

公 告 方 法 電子公告(当社ホームページをご覧ください。)
<http://www.kobelco.co.jp>

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 大阪市北区堂島浜一丁目1番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

同 取 次 所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店

郵便物送付および電話照会先

〒530-0004 大阪市北区堂島浜一丁目1番5号

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

☎0120-094-777 (通話料無料)

(土・日、祝日、年末年始を除く9:00～17:00)

※名義変更、住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取・買増請求および株式の相続手続に必要な届出用紙のご請求は、☎0120-684-479(通話料無料:24時間自動音声応答サービス)でも承ります。

※株主名簿管理人の「取次所」の定めについて

株券電子化後、株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社経由で行なっていただくこととなるため、株主名簿管理人の「取次所」は、証券電子化の実施時をもって廃止いたします。

株式に関するお手続きのご案内

当社の株式に関するお手続きは、株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にて承っております。
当社株式に関してお困りのときはお気軽にダイヤルを!!

☎0120-094-777 (通話料無料)

土・日、祝日、年末年始を除く9:00～17:00

※平成20年12月30日までは17:30まで受付いたします。

株式に関する手続用紙のご請求

株式に関する手続用紙(名義変更、住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取・買増請求および株式の相続手続に必要な届出用紙)のご請求につきましては、次の三菱UFJ信託銀行の電話およびインターネットにより、24時間受付しておりますので、ご利用ください。

■受付番号：☎0120-684-479
(通話料無料・24時間自動音声応答サービス)

■インターネットアドレス：
<http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

※「証券保管振替制度」をご利用の株式に関する各種お手続(住所変更、単元未満株式買取・買増請求および株式の相続)につきましては、お取引先証券会社にお問い合わせください。

※郵便物送付先

〒530-0004
大阪市北区堂島浜一丁目1番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

※当社株式に関する電話お問合せ先

●お問合せ先

☎0120-094-777

(通話料無料・オペレーターがお伺いいたします)
(土・日、祝日、年末年始を除く 9:00～17:00)

●手続用紙のご請求

☎0120-684-479

(通話料無料・24時間自動音声応答サービス)

※お電話でのお問合せは、株券電子化前後や配当金支払い期間中などの場合、大変混み合うことがあり、つながりにくくなる可能性があります。ご了承ください。

●株券電子化実施に伴うお知らせ

「証券保管振替制度」をご利用でない株主様につきましては、ご所有の株式は三菱UFJ信託銀行に開設される特別口座に記録されます。

特別口座に記録された株式に関するお問い合わせは、上記三菱UFJ信託銀行までお問い合わせください。

KOBELCO

インターネット ホームページ <http://www.kobelco.co.jp>



この「株主の皆様へ」は環境に配慮し、無塩素漂白による、古紙/リブ15%、植林木・間伐材/リブ85%と、大豆油インキを使用しています。